



パラグライダー

会場地 : 養父市(旧: 関宮町)

競技紹介

『鳥のように大空を飛びたい』そんな大きな夢をパラグライダーなら簡単
にかなえてくれます。

もともと登山家たちが下山の手段として、パラシュートを改良して使っていた
もので、墜落の危険性はほとんどありません。速度も比較的ゆっくりしている
ので、大人から子供まで誰でも安全に気軽に空中散歩が楽しめます。

斜面を駆け降り、ふわりと身体が浮き、空中散歩の始まり。その興奮と
爽快さは忘れられない体験となるでしょう。

空に浮かんだら、

飛行時間の長さを競う。(デュレーション)

飛行時間の速さを競う。(スピード)

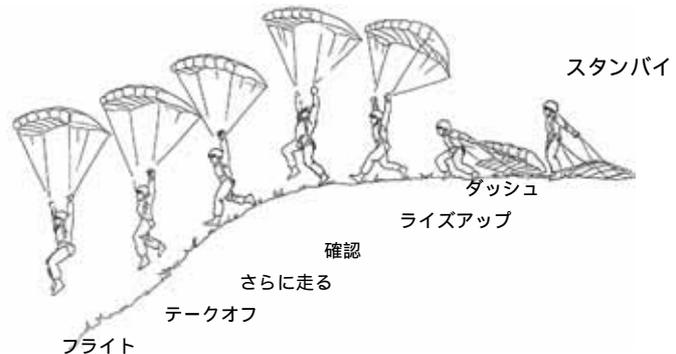
飛行距離の長さを競う。(ディスタンス)

決められた時間に合わせて下りてくる。(セットタイム)

決められた場所へ飛行してから帰って来る。(アラウンド・パイロン)

ターゲット(目標点)の真ん中へ下りて来る。(ターゲット)

これらをタスクと呼び、気象条件に合わせてこれらタスクを組み合わせて競技
します。



競技方法

JHF(社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟)の技能証で、XC(ク
ロスカントリー)級、P(パイロット)級、NP(ノービスパイロット)級、B
(ビー)級の技能別に選手を分けて、それぞれのテイクオフする場所や競技内容
を設定します。

気象条件に合った競技種目をタスク中から組み合わせて決定し、得点を付けます。
オリエンテーションで選手に競技内容を説明し、その後、試験飛行をして、テ
イクオフディレクター(各テイクオフの責任者)の宣言で、競技を開始します。

競技開始宣言(ゲートオープン)から競技終了宣言(ゲートクローズ)までの間
に、パイロットは自分の意志と自己の決断でテイクオフします。

気象条件の変化で緊急にゲートをクローズする場合があります。各タスクの得点

の獲得点で順位が決まります。

競技場の概要

【会場】

八チ高原スキー場・ハイパーボウル東鉢スキー場

正面に兵庫県の最高峰、氷ノ山を望む雄大な自然に恵まれた鉢伏山と、その麓に広がる八チ高原、そして鉢伏山の東側に位置する東鉢伏高原が大会会場となっています。鉢伏山、東鉢伏高原それぞれの離陸ポイントから、八チ高原のメイン会場にあるランディング場に向かって次々と飛んでいきます。

八チ高原スキー場の斜面では、初心者向けの体験イベントを実施します。

国体会場イメージ

